

隠岐の島町民生委員・児童委員協議会だより Vol45



ほほえみ

発行 隠岐の島町民生児童委員協議会

事務局 隠岐の島町役場 保健福祉課 地域福祉係内

お住まいの地域の民生委員・児童委員が不明の場合は
役場保健福祉課までお問い合わせ下さい。

電話 (08512) 2-8561

未来へつなぐ助け合い支え合いの心

会長 堤 章

民生委員・児童委員、町民の皆様におかれましては、九月までの猛暑日を、如何お過ごしでしたでしょうか。委員の方はご自身の体調管理や、日頃から継続的に地域の皆さんと接し、見守り活動、支援活動が続けておられて、本当にご苦労様です。

近年は少子高齢化や人口減少、地域のつながりの稀薄化が課題となり、「地域共生社会」が国の政策として語られ進められています。この考え方は決して新しいものではありません。日本の歴史で国家体制が整った時代の記録によると、台風、地震、河川の氾濫で厳しい自然災害にも見舞われていたようです。そんな中でも、家族や地域、近所同士で、人々は助け合い支え合って、幾度もの痛みから立ち直る力強さを培ってきたようです。長い歴史の中で育まれた日本の伝統文化の基には、人との「和」を尊び大切にする精神があったように思います。

地域の民生委員・児童委員は
地域の身近な相談相手・専門機関への
つなぎ役です

世界に目を向けると、人々はそれぞれの土地で長い年月を暮らし、その土地の自然や環境と関わりながら、気候の変化や風土、食物の栽培、収穫の方法等を発見し理解して、自分達の生活や身体に適應する食文化や伝統文化を創ってきたようです。日本においても四季豊かな自然の中で独自の暮らしや文化が形づくられてきました。一汁三菜の考え方や和食でよく食べられる「魚・大豆・野菜・海藻・きのこ」など、日本人の健康を支える食生活の知恵が、今日まで受け継がれてきました。

現代は世界中の優れた食品、文化、技術に触れられる良き時代です。一方で、日本の長い歴史の中で育み、守り続けてきた文化や生活の知恵まで失いたくないですね。この歴史の中で受け継がれたことは、今日の日本社会の土台を築いてきたと思います。私たち民生委員・児童委員の活動でも、現在の町民の皆さんの日常生活内にも、日本の古き良き伝統と地域の温かな「助け合い・支え合いの心」が存在しています。この歴史が築いた「心」を、町民の皆さんと一緒に未来へつないでいきたいと願っています。

西郷地区部会の活動報告

西郷地区部会の活動について

西郷地区部会

田中 義人

西郷地区部会は、栄町4・東町1・中町2・西町3・港町4・岬町1の十五名がそれぞれ担当地域を受け持つて活動しています。現在、中町と朝日ヶ丘地域で委員の欠員があります。私たちと一緒に活動していただける方があれば自薦他薦を問わずご連絡ください。

本会の日頃の活動としては、定期的に地区会を開催して情報交換や勉強会、交流などをします。また、毎月の「交通安全町民の日」に合わせて街頭での挨拶運動をしています。四月当初は西郷小学校の新一年生の集団下校のお手伝いを一週間行います。今後の計画としては、以前行っていた小・中学校との意見交換会を開催したいと思っています。

さて、私たち民生委員・児童委員の中心課題はなんといっても、住民の生活相談を受けることです。必要に応じて関係機関と連携して支援を行います。最近話題になっている災害時緊急避難については、特に一人住まいの方や避難困難な方を中心に手助けできるように情報把握に

努めています。近隣住民のお互いの助け合いを基本に、緊急時の対応をしていきます。

なお、各種の相談を希望される方がおられましたら、遠慮なくご連絡ください。各地区の住民の皆さんはご自分の地域を担当している民生委員・児童委員を今一度ご確認ください。よろしくお願いします。

西郷地区部会の活動報告

活動報告

西郷地区部会

高村 絹代

西郷地区民生委員・児童委員は十五名の定員を割り、十二名で活動をしています。おおまかですが、年間の私たちの活動を紹介します。

四月には西郷小学校新一年生の下校指導があり、午前で帰る一年生を信号機、横断歩道、右側通行などに気をつけ、親御さんの待つ家の近くまで送ります。隠岐の島町の交通安全町民の日には街頭に立ち、児童生徒の登校を見守り、年に数回は本部主催の研修会に出席しています。また、二カ月に一度役場に赴いて介護福祉施設の職員、役場保健福祉課担当職員と民生委員・児童委員三者の情報交換会に出席します。

このように書くと、なかなか大変そうと思われがちですが、普通一般の生活では経験できない活動と出会いがあり、一期三年はあっという間に過ぎてしまいます。

今年四月には、委員任期満了で交代される方の慰労と新委員の親睦を兼ね、松江方面に旅行に出かけました。ばけばけブームの小泉八雲邸、世界一の庭園足立美術館の見学、県庁食堂での昼食と楽しい事も計画し、実行しました。

「こんにちは」「また来てね」の声に背中を押され、頑張っています。楽しいことばかりとは言えませんが、仲間で行うボランティア活動、地区会参加は新しい自分発見になるかも知れません。欠員になっている中町、栄町一部に新しい仲間が増えることを望みます。



五箇地区部会の活動報告

五箇地区部会

藤田 元春

五箇地区部会は、十二の行政区があり、那久路、小路、郡、山田、苗代田、南方、北方、(福浦・長尾田)、代、(久見・向ヶ丘)、各地区一名と主任児童委員一名の計十一名で構成されています。昨年十二月から現在の体制に移行し、再任の民生委員・児童委員は二名のみで八名の民生委員・児童委員と一名の主任児童委員が新たに就任されました。

五箇地区部会は隔月(奇数月)に定例会議を行っています。五箇地区では、地域包括支援センターが主催する地域連絡会(通称ケア会議)が毎月第三火曜日の午後四時から行われるため、我々民生委員・児童委員の定例会もそれに合わせて行っています。ケア会議には二名の委員が交代で参加して、担当地区以外の情報があるときには必要性を考慮し地区の担当に知らせるようにしています。

定例会では、各地区の委員から日頃の活動についての報告があり、情報の共有、交換を行っています。新たに就任された方が多いため、方向性についての意見交換も行われます。

また、五月と七月には五箇保育園、五箇小学校、五箇中学校及び駐在所の警察官と合同での会議を開催し、保育園の園児、小中学校の児童生徒の状況について、また各地区での困りごと等の問題について情報交換を行っています。

新しく就任された主任児童委員の方は、ご主人と二人で毎朝登校の見守り活動(就任以前から)していますので、児童生徒の様子を熟知しておられ、子どもたちは安心して登校できると思います。

最後に、五箇地区だけの問題ではないと思いますが、高齢化が進み、独居老人世帯のみを対象とするのではなく、認知症の親を持つ家族の相談にも対応することが多くなったと感じています。

令和8年度の総会を開催しました



令和8年5月21日に総会を開催し、今年度の活動方針が承認されました。また、保健福祉課の新たな職員の自己紹介や地域の保健師との顔合わせも行いました。



永年勤続表彰受賞

この度、本町の民生児童委員の方々が永年勤続表彰を受賞されました。心より祝意を表すると共に、ご報告をさせていただきます。(敬称略)

《永年勤続十年以上》

【全国民生委員児童委員連合会功労者表彰】

○秋庭 肇

《永年勤続十二年以上 副会長》

【島根県社会福祉協議会会長表彰】

○池田 幸雄

《永年勤続九年以上》

【島根県民生児童委員協議会会長表彰】

○前釜 安孝

10月は里親月間です

あなたも里親になりませんか

○こどもたちに家庭のぬくもりを

○こどもたちのために、あなたにも出来ることがあります。

「養育里親」(こどもが親と一緒に生活出来るようになるまで養育する)

「養子縁組里親」(養子縁組により養親となる)

他に、専門里親、親族里親もあります。

○里親になるには、特別な資格は必要ありませんが、必要な研修を受講すること、里親希望者又は同居人が欠格事項に該当しないことなどが要です。

■中央児童相談所隠岐相談室 TEL二一九七〇六

あなたも民生委員・児童委員になりませんか？

任期 3年(R7.12.1~R10.11.30)
※3年ごとに一齐改選

隠岐の島町定数

- 民生委員・児童委員 62名(62地区)
- 主任児童委員 5名

現在、欠員が生じている地区(7地区)

- 中町1~4区、10、11区
- 中町5~9区
- 栄町4・5・6区(要木・ホーム)
- 元屋区域
- 浜田・森区域
- 上・郡区域
- 西里・森里

新たに委嘱しました！

- 東郷地区(小田・神米・東町8(登具)区域)

広江 和彦 委員

- 主任児童委員(布施・中村地区)

中嶋 洋子 委員

令和8年7月1日より、就任されました。

該当の地区にお住まいの方で、活動について詳しく聞きたいと思われた方は、事務局までお気軽にお問合せください。
(事務局:保健福祉課 08512-2-8561)

事務局より

年明け早々の出初式の日、島根県東部を震源とする地震が発生、本町でも会議のさなか揺れを感じ騒然としました。その後、四月から六月にかけて、マグニチュード五から七クラスの地震が全国で頻発、七月二十八日には最大震度七の熊本地震と続き、今も多数の方が避難生活を余儀なくされています。

また、千葉・北陸などの記録的豪雨、複数の台風による大規模災害が発生、各地の被災状況には胸が痛みます。特に台風は年間平均発生件数の二十五、一個を九月で既に上回っており、今まさに台風25号による甚大な被害が報道されています。

決してひと事ではない、自然災害。各地で被災された皆さまの一日も早い復旧・復興を願うとともに、今、ここで災害が起きたら自分はどうするのか、個人として、組織の一員として、そして事務局として、改めて考えています。日頃からできる備えを大切にしたいと思っています。

編集委員

下坂光代 眞野秀雄 吉田美智子
中谷清一郎 村上常和 大上峯子
半田恵美子 山下幸代

